

「アート」の息吹」展

2012年 3月25日(日)~4月1日(日)

9:00-19:00(最終日は17:00まで)2階ギャラリー・入場無料

アート(美術)は、遠い昔から未来までをつなぎ、世代や国境を越えて、人々の生活に感性の潤いをあたえてきました。今、この地・新庄において、春の息吹とともに運ばれてきたそれぞれの作品たちが、一つの展示空間のなかで、新たな対話を生み出そうとしています。

ご高覧の上、ご批評いただければ幸いです。

<アートの息吹展実行委員会>

■川村 保子 (かわむらやすこ) 最上町在住

- 「やわらかな春色の朝(瀬見)」 F10 アクリル
- 「寒いけど大スキー(赤倉)」 P10 アクリル
- 「キラキラ光る街」 F6 アクリル
- 「42℃の日は」 F6 アクリル
- 「真夏のガーデンランチ」 F6 アクリル

自分が体験したり感じたりしたことをその時の風景に重ねて、私風景として描いてみたいと思っています。絵画に限らず、自分で手作りすることが大好きです。日々の生活を大事にし、心豊かに過ごしていきたいと思ひます。



■田口富士雄 (たぐちふじお) 新庄市在住

- 「緑の中でうごめくもの」 F130 アクリル
- 「雨の中できらめくものたち」 F120 アクリル
- 「八月の光の中で」 F100 アクリル

裡なるものは何も変わっていないのだが、年ごとに、色層が深く刻まれてきている感じが強い。はたして、行き着く先を見極めることなど、できるものかどうか。



■本木 京一 (もとときょういち) 鮭川村在住

- 「未明の心象」 F130 アクリル
- 「回帰する幻想」 F30 アクリル

未明に窓から映る光は、いつも不思議な幻想を抱かせる。その心情は、懐かしさであったり、時には不安や焦燥、孤独であったりする。浮遊するような不確かな感覚の中に、妙に覚醒した自分がある。静寂に包まれ、目の前の象を見上げている。



■渡辺 博之 (わたなべひろゆき) 新庄市在住

- 「秋の奥入瀬」 F15 油彩
- 「ピエロ」 F8 油彩
- 「小さなピエロ」 P6 油彩
- 「ピエロ」

私は35才の時、油彩に興味を持ち、人物から始めました。中でも、小さい頃の思い出、道化師(ピエロ)を描く様になり、これからは、風景や静物にも挑戦したいと思ひます。



■伊藤 聡 (いとうさとし) 新庄市在住

- 「現象-混沌と希望-」 F50 油彩
- 「姉妹VI」 F10 油彩
- 「自画即興像」 B3x2 油性ペン・チョーク・水彩

いろいろな作品との出会いは、有限の時間のなかに、無限の表現空間の創造が在ることを、何もできないわたしに、ときおり思い出させてくれる気がします。



【出品者・順不同】

■黒坂 敏生 (くろさかとしお) 鮭川村在住

- 「孟宗筍」 M12 日本画
- 「冬くる水辺」 M10 日本画
- 「花菖蒲」 F6 日本画
- 「フラメンコの夜」 M6 日本画
- 「トトロに似た木」 F6 挿絵

心と体が健康で、酒が飲み、絵を描けることに感謝！
新興美術院会員、新人賞・奨励賞・35回記念展賞
京都市芸術文化協会賞・山形県美展賞、個展5回



■菅井 美和 (すがいみわ) 新庄市在住

- 「帰ったあとで」 F80 日本画
- 「秋のにおい」 F20 日本画
- 「目覚めるときの」 F5 日本画

私は場所から、感情や気持ちを探してそれを絵にし、描いてきました。構図、日本画の素材や滲みなどの技法に着目していただき、私の絵からそれぞれの気持ちや感情を感じ取って欲しいです。



■叶内 章二 (かなうちしょうじ) 新庄市在住

- 「黒煙焼成大花器」
- 「黒煙焼成 壺I」
- 「黒煙焼成 壺II」

新庄最上陶房・陶 章二は市内十日町泉ヶ丘に在ります。
黒煙焼成にて独特に土に色を出す焼成です。是非一度陶房へ足を運んでくだされば幸いです。

